

## 5 年齢別常用求人・求職・就職状況

常用（含パート）

28年8月

	新規求人数		月間有効求人数		新規求職 申込件数	月間有効 求職者数	就職件数	新規求人倍率		有効求人倍率	
	就職機会	求人数均等	就職機会	求人数均等				就職機会 積み上げ方式	求人数均等 配分方式	就職機会 積み上げ方式	求人数均等 配分方式
	積み上げ方式	配分方式	積み上げ方式	配分方式							
年齢計	65,152	65,152	183,481	183,481	31,615	144,549	8,613	2.06	2.06	1.27	1.27
19歳以下	1,187	6,696	3,137	18,880	522	2,173	149	2.27	12.83	1.44	8.69
20～24歳	6,832	7,431	18,280	21,151	3,083	12,849	777	2.22	2.41	1.42	1.65
25～29歳	9,566	7,363	27,055	20,898	4,260	18,816	951	2.25	1.73	1.44	1.11
30～34歳	7,984	7,042	22,737	19,902	3,524	15,914	794	2.27	2.00	1.43	1.25
35～39歳	6,688	6,229	19,270	17,468	3,099	14,347	815	2.16	2.01	1.34	1.22
40～44歳	7,589	5,741	20,341	16,006	3,851	16,881	1,119	1.97	1.49	1.20	0.95
45～49歳	6,935	5,415	18,722	15,101	3,764	16,737	1,139	1.84	1.44	1.12	0.90
50～54歳	5,407	5,335	15,135	14,910	2,934	13,628	891	1.84	1.82	1.11	1.09
55～59歳	4,156	5,328	12,812	14,891	2,163	11,106	740	1.92	2.46	1.15	1.34
60～64歳	3,794	4,551	13,389	12,867	1,986	11,593	658	1.91	2.29	1.15	1.11
65歳以上	5,014	4,021	12,603	11,407	2,429	10,505	580	2.06	1.66	1.20	1.09

年齢計	65,152	65,152	183,481	183,481	31,615	144,549	8,613	2.06	2.06	1.27	1.27
24歳以下	8,019	14,127	21,417	40,031	3,605	15,022	926	2.22	3.92	1.43	2.66
25～34歳	17,550	14,405	49,792	40,800	7,784	34,730	1,745	2.25	1.85	1.43	1.17
35～44歳	14,277	11,970	39,611	33,474	6,950	31,228	1,934	2.05	1.72	1.27	1.07
45～54歳	12,342	10,750	33,857	30,011	6,698	30,365	2,030	1.84	1.60	1.12	0.99
55歳以上	12,964	13,900	38,804	39,165	6,578	33,204	1,978	1.97	2.11	1.17	1.18

年齢計	65,152	65,152	183,481	183,481	31,615	144,549	8,613	2.06	2.06	1.27	1.27
44歳以下	39,846	40,502	110,820	114,305	18,339	80,980	4,605	2.17	2.21	1.37	1.41
45歳以上	25,306	24,650	72,661	69,176	13,276	63,569	4,008	1.91	1.86	1.14	1.09

（注） 年齢別の求人倍率及び求人数は、次の2つの方法により集計を行っている。

「就職機会積み上げ方式」

個々の求人について、求人数を対象となる年齢階級〔5歳刻みの11階級〕の総月間有効求職者数で除して当該求人に係る求職者1人当たりの就職機会を算定し、全有効求人についてこの就職機会を足し上げることにより、年齢別有効求人倍率を算出する。年齢別月間有効求職者数は、年齢別有効求人倍率に年齢別月間有効求職者数を乗じて算出する。なお、新規求人倍率及び新規求人数も同様の方法により算出する。（この際、月間有効求職者数の代わりに、新規求職申込件数を用いる。）

平成18年7月分より公表。

「求人数均等配分方式」

求人の対象年齢の種類（対象年齢がどの年齢階級〔5歳刻みの11階級〕にまたがるかにより66通りに分類）ごとに、求人数を対象年齢に相当する各年齢階級に均等に配分して、年齢別の月間有効求職者数を算出し、これを年齢別の月間有効求職者数で除して、年齢別有効求人倍率を算出する。新規求人倍率及び新規求人数についても同様の方法により算出する。